

## 東区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称			実施主体				
東区役所健康ふれあいひろば等活用事業(ひがしふおと展)			東区役所自治推進課				
事業目的	事業効果	活動指標	R3	R4	R5		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・東区内の魅力を共有する。</li> <li>・地元の特性の再発見及び地元意識の高揚を図る。</li> <li>・地域愛の醸成を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区内の情報共有</li> <li>・区民等との協働による東区の魅力発見・発信</li> <li>・事業参画への誘導</li> <li>・区民等による情報発信の促進</li> </ul>	参加者アンケートによる満足度の測定	81%	91%	87%		
①妥当性		②協働の視点		③インパクト		④効率性	
○	地域を愛する心は住みよいまちをつくるうえで重要な要素であり、区の魅力発信と共有を通じて地域への愛着心の醸成を図る一助にしようとする点で、本事業は一定意義のあるものと捉えている。	△	写真の募集を通じて、東区在住・在勤・在学の方に広く地域の魅力発掘・発信を求める(参加型)事業ではあったが、応募数の点など課題も残った。	△	区ホームページ内での応募作品の展示、ジャンル分けしての展示(掲載)、堺市電子申請システムを活用しての投票も可能とするなどの新たな手法を試みたが、事業そのものの抜本的なテコ入れまでには至らなかった。	○	写真現物だけでなく、電子申請システムやメールでの受付も可とするなど、幅広い層から気軽に応募できる環境とした。
⑤自立発展性		総合評価					
△	事業に関する提案など地域にも協力を得ながら取り組んできたが、新型コロナウイルス感染症が5類に移行し社会経済が正常化する中で、より区民ニーズにあった事業も検討する必要がある。	△	新型コロナウイルス感染症の感染拡大による行動制限等の状況下で、東区の様々な風景・スポット・イベント等の魅力の発見・発信を通じて、多くの方の参加や交流に資する取組であったと受け止めているが、コロナによる行動制限等も撤廃されるなど事業開始当初と大きく状況が変わる中、より効果的な事業展開を図る。				
今後の方向性(課題、改善提案等)							
拡充 継続 見直し 廃止	「ひがしふれあい文化祭(作品展)」など、幅広い世代の参加や来場が期待できる催しを活用した事業展開などを検討する。						